

反射テスト 統計 正規分布とその標準化 01

1. 確率変数 X が正規分布 $N(50, 100)$ に従うとき、次の問を求めよ。(S 級 1 分, A 級 2 分, B 級 3 分 20 秒, C 級 5 分)

(1) 期待値 $E(X)$ と標準偏差 $\sigma(X)$ を求めよ.

(2) 確率変数 Z が標準正規分布 $N(0, 1)$ に従うとき, Z を X の式で表せ.

(3) 下の簡易的な正規分布表を用いて, $P(Z \geq 1.0)$ を求めよ.

u	0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0
$P(0 \leq Z \leq u)$.0000	.1915	.3413	.4332	.4772	.4938	.4987

(4) $P(X \geq 60)$ を求めよ.

2. 確率変数 X が正規分布 $N(100, 625)$ に従うとき、次の問を求めよ。(S 級 1 分, A 級 2 分, B 級 3 分 20 秒, C 級 5 分)

(1) 期待値 $E(X)$ と標準偏差 $\sigma(X)$ を求めよ.

(2) 確率変数 Z が標準正規分布 $N(0, 1)$ に従うとき, Z を X の式で表せ.

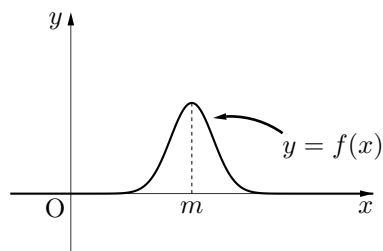
(3) 下の簡易的な正規分布表を用いて, $P(Z \geq 2.0)$ を求めよ.

u	0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0
$P(0 \leq Z \leq u)$.0000	.1915	.3413	.4332	.4772	.4938	.4987

(4) $P(X \leq 150)$ を求めよ.

反射テスト 統計 正規分布とその標準化 01 解答解説

1. 確率変数 X が正規分布 $N(50, 100)$ に従うとき、次の問を求めよ。(S 級 1 分, A 級 2 分, B 級 3 分 20 秒, C 級 5 分)



★ 正規分布 連続型確率変数 X の確率密度関数 $f(x)$ が

$$f(x) = \frac{1}{\sqrt{2\pi}\sigma} e^{-\frac{(x-m)^2}{2\sigma^2}} \quad (m, \sigma \text{ は実数で, } \sigma \geq 0) \cdots e \text{ はネイピア定数で約 } 2.7$$

で与えられているとき、 X は正規分布 $N(m, \sigma^2)$ に従うといい、 $y = f(x)$ のグラフを正規分布曲線という。 X が正規分布 $N(m, \sigma^2)$ に従う確率変数であるとき、

期待値 $E(X) = m$, 標準偏差 $\sigma(X) = \sigma$

★ 標準正規分布 X が正規分布 $N(m, \sigma^2)$ に従う確率変数であるとき、

$$Z = \frac{X - m}{\sigma} \text{ とおくと、確率変数 } Z \text{ は標準正規分布 } N(0, 1) \text{ に従う。}$$

★ 正規分布表 標準正規分布の確率を求めるときは正規分布表を用いる。

標準正規分布 $N(0, 1)$ より、 $m = 0$, $\sigma = 1$ を用いて、 $\int_0^u f(x)dx = \int_0^u \frac{1}{\sqrt{2\pi}} e^{-\frac{x^2}{2}} dx$ の近似値をまとめて一覧表にしたもの。

u の値から $P(0 \leq Z \leq u)$ の確率を求めることができる。 u が負のときは正規分布が線対称であることより、

$$P(-u \leq Z \leq u) = P(0 \leq Z \leq u) \text{ であることを利用する。}$$

★ 二項分布の正規近似

X が二項分布 $B(n, p)$ に従うとき、 n が大きくなればなるほど、 X は近似的に正規分布 $N(np, npq)$ に従う。ただし、 $q = 1 - p$ 。

- (1) 期待値 $E(X)$ と標準偏差 $\sigma(X)$ を求めよ。

★ 正規分布 $N(m, \sigma^2)$ $\cdots m$ は平均、 σ^2 は分散 (つまり σ は標準偏差)

$$E(X) = m = 50 \quad \sigma(X) = \sqrt{\sigma^2} = \sqrt{100} = 10$$

☆ 平均 50 点、標準偏差 10 点のイメージがこれ。日本のテストで算出される偏差値はこの正規分布に従う。

- (2) 確率変数 Z が標準正規分布 $N(0, 1)$ に従うとき、 Z を X の式で表せ。

★ 正規分布の標準化 $Z = \frac{X - m}{\sigma}$

$$Z = \frac{X - 50}{10}$$

- (3) 下の簡易的な正規分布表を用いて、 $P(Z \geq 1.0)$ を求めよ。

u	0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0
$P(0 \leq Z \leq u)$.0000	.1915	.3413	.4332	.4772	.4938	.4987

正規分布表から $u = 1.0$ のときを調べると、 $P(0 \leq Z \leq 1) = 0.3413$ とわかるので、

$$P(Z \geq 1) = P(Z \geq 0) - P(0 \leq Z \leq 1) = 0.5 - 0.3413 = \mathbf{0.1587}$$

☆ $P(Z \geq 0) = 0.5$ \cdots 全事象の半分である。

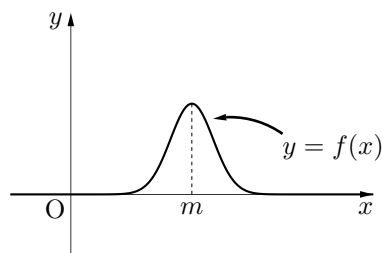
- (4) $P(X \geq 60)$ を求めよ。

$$Z = \frac{X - 50}{10} \Leftrightarrow X = 10Z + 50$$

$$\text{よって } X \geq 60 \Leftrightarrow 10Z + 50 \geq 60 \Leftrightarrow Z \geq 1$$

$$P(X \geq 60) = P(Z \geq 1) = \mathbf{0.1587}$$

2. 確率変数 X が正規分布 $N(100, 625)$ に従うとき、次の問を求めよ。(S 級 1 分, A 級 2 分, B 級 3 分 20 秒, C 級 5 分)



★ **正規分布** 連続型確率変数 X の確率密度関数 $f(x)$ が

$$f(x) = \frac{1}{\sqrt{2\pi}\sigma} e^{-\frac{(x-m)^2}{2\sigma^2}} \quad (m, \sigma \text{ は実数で, } \sigma \geq 0) \cdots e \text{ はネイピア定数で約 } 2.7$$

で与えられているとき, X は **正規分布** $N(m, \sigma^2)$ に従うといい, $y = f(x)$ のグラフを **正規分布曲線** という. X が正規分布 $N(m, \sigma^2)$ に従う確率変数であるとき,

$$\text{期待値 } E(X) = m, \text{ 標準偏差 } \sigma(X) = \sigma$$

★ **標準正規分布** X が正規分布 $N(m, \sigma^2)$ に従う確率変数であるとき,

$$Z = \frac{X - m}{\sigma} \text{ とおくと, 確率変数 } Z \text{ は標準正規分布 } N(0, 1) \text{ に従う.}$$

★ **正規分布表** 標準正規分布の確率を求めるときは **正規分布表** を用いる.

標準正規分布 $N(0, 1)$ より, $m = 0, \sigma = 1$ を用いて, $\int_0^u f(x)dx = \int_0^u \frac{1}{\sqrt{2\pi}} e^{-\frac{x^2}{2}} dx$ の近似値をまとめて一覧表にしたもの.

u の値から $P(0 \leq Z \leq u)$ の確率を求めることができる. u が負のときは正規分布が線対称であることより,

$$P(-u \leq Z \leq u) = P(0 \leq Z \leq u) \text{ であることを利用する.}$$

★ **二項分布の正規近似**

X が二項分布 $B(n, p)$ に従うとき, n が大きくなればなるほど, X は近似的に正規分布 $N(np, npq)$ に従う. ただし, $q = 1 - p$.

- (1) 期待値 $E(X)$ と標準偏差 $\sigma(X)$ を求めよ.

★ **正規分布** $N(m, \sigma^2) \cdots m$ は平均, σ^2 は分散 (つまり σ は標準偏差)

$$E(X) = m = 100 \quad \sigma(X) = \sqrt{\sigma^2} = \sqrt{625} = 25$$

- (2) 確率変数 Z が標準正規分布 $N(0, 1)$ に従うとき, Z を X の式で表せ.

★ **正規分布の標準化** $Z = \frac{X - m}{\sigma}$

$$Z = \frac{X - 100}{25}$$

- (3) 下の簡易的な正規分布表を用いて, $P(Z \geq 2.0)$ を求めよ.

u	0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0
$P(0 \leq Z \leq u)$.0000	.1915	.3413	.4332	.4772	.4938	.4987

正規分布表から $u = 2.0$ のときを調べると, $P(0 \leq Z \leq 2) = 0.4772$ とわかるので,

$$P(Z \geq 2) = P(Z \geq 0) - P(0 \leq Z \leq 2) = 0.5 - 0.4772 = \mathbf{0.0228}$$

☆ $P(Z \geq 0) = 0.5 \cdots$ 全事象の半分である.

- (4) $P(X \leq 150)$ を求めよ.

$$Z = \frac{X - 100}{25} \Leftrightarrow X = 25Z + 100$$

$$\text{よって } X \leq 150 \Leftrightarrow 25Z + 100 \leq 150 \Leftrightarrow Z \leq 2$$

$$P(X \leq 150) = P(Z \leq 2) = 1 - P(Z \geq 2) = 1 - 0.0228 = \mathbf{0.9772}$$